



## その他の機能改良

### (1) 地図を2画面にして2つの情報を比較表示できるようになりました

①「機能」クリック

②「ツール」クリック

③「2画面表示」クリック

連動“ON”で2画面が連動します

2007年～ 1945～1950年  
代々木公園周辺の空中写真の比較

### (2) 検索ワードを使って情報を探しやすくなりました

①「情報」クリック

②情報リストウィンドウの検索バーに検索ワードを入力

③たとえば「標高」というキーワードで検索した結果、名称に「標高」を含む情報が表示されます。

2,000以上の情報から絞り込まれます

※情報リスト内の構成については、タブの廃止、主題図を「起伏を示した地図」、「土地の特徴を示した地図」、「地図の更新情報や提供地域等」に分けるなど、見直しを行いました。



## その他の機能改良

### (3) 等距圏と方位線を表示できるようになりました

①「機能」クリック

②「設定」クリック

③「等距圏」or「方位線」  
クリック

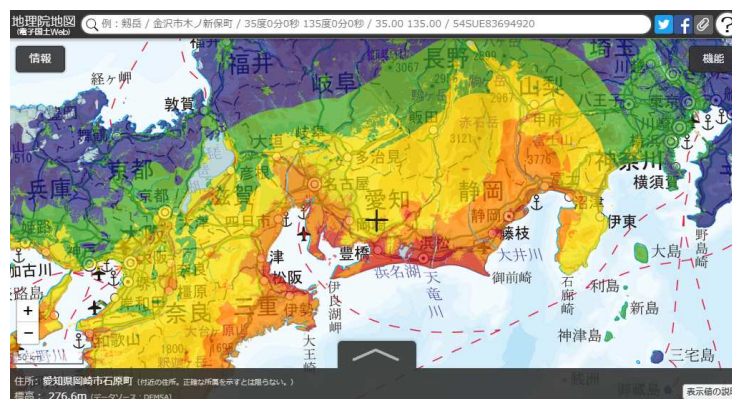


### (4) 地理院以外の機関が配信しているデータ（※1）も重ねて表示できるようになりました

①「機能」クリック

②「ツール」クリック

③「外部タイル読込」  
クリック



強震断層モデル（※2）の重ね合わせ例

(※1) 地理院タイルと同等のXYZ形式で配信されているデータが対象です。

地理院タイル仕様について <https://maps.gsi.go.jp/development/siyou.html>

XYZ形式で配信されているデータは、G空間情報センター（<https://www.geospatial.jp/>）で検索することができます。G空間情報センターは、産官学の様々な機関が保有する地理空間情報を円滑に流通し、社会的な価値を生み出すことを目的として、地理空間情報活用推進基本計画（平成24年3月閣議決定）に基づき設立された機関です。

(※2) 強震断層モデル：「内閣府 南海トラフの巨大地震モデル検討会」資料よりG空間情報センター作成

<https://www.geospatial.jp/ckan/dataset/1201>

注：国土地理院以外の機関が配信しているデータをご利用の際は、当該データの利用規約に従いご利用ください。

### (5) ベースマップの「English」のズームレベル9～11を更新しました

地図のデザインを「標準地図」に合わせるとともに、ローマ字表記の箇所を英語表記で統一します。

